



# 豊高だより

平成30年7月19日発行 通算47号

埼玉県立豊岡高等学校

(題字は本校 櫻田 晴子 教諭)

## 巻頭言

### 一 はじめに

校長 鈴木雅士

平年より二十日も早く梅雨が明けて、猛暑が続いています。熱中症には油断できない状況です。日常の活動の中でも、怖さを忘れないようにしたいものです。



さて、一学期も終わり、年度当初に立てた目標に向かって順調に進んでいる人が多いのではないだろうか。いきなり大きな結果が出ることはありませんので、地道な活動を積み重ねてこそその成果なのですが、部活動で快挙です。インターハイ出場です。アーチェリー部が団体と個人の両方で、4年前に個人優勝したとき以来です。陸上部も110mHで男女そろっての出場を勝ち取りました。全国大会は、アーチェリーが岐阜県、陸上は三重県で、ともに8月初めに

開催されます。活躍を応援しましょう。

### 二 一学期を振り返って

年度初めの大変慌ただしい中、遠足で親睦を深め、中間考査を乗り切った後、体育祭で一步成長する、毎年この流れで始まります。とくに体育祭は、生徒皆さんの心意気がよくあらわれた素晴らしいものとなりました。競技成績の方は、3回目となる3年次生はさすがです。勝ち方を知っているのでしょうか。総合優勝した3年次クラスは、個々の力量の足し算だけではない団結の力が勝利になること、思いを一つにして挑むことの大事さ、このことを見事に示してくれたと思います。2年次および1年次生の、驚くような活躍も目立ち、今後が楽しみにもなる体育祭でした。



三者面談では、目標や課題、勉強や部活動のことなど、情報共有の話し合いができたことと思います。自身を見つめ、自ら鼓舞し奮い立ち、この一学期末考査に成果をあげた人も多いのではないのでしょうか。とくに3年次生は進路に直結することもあるので、よく頑張っていました。今日よりは、計画的な夏季休業になるよう挑戦して欲しいと思います。

### 三 大学入試改革は試行段階に

昨年11月に実施された大学入学共通テスト試行調査(プレテスト)問題の内容には衝撃を受けました。すでに公開されていますので、ご覧になった方もいるかと思いますが、実施されたプレテストの問題は、現在行っている授業で、この問題を考える力が付けられますか? という強烈なメッセージを發しているように感じました。これまでは、国語と数学で導入される記述式問題の内容や採点方法にばかり注目が集まっていますが、プレテスト問題は、選択式の問題であっても、複数の情報を統合、構造化して新しい考えをまとめる思考や判断、考えた過程を表現する力を十分問えるという可能性を示したものと受け止めています。第2回目のプレテストは、規模を拡大して本年度も実施されま

すが、これからの時代を生き抜くために必要な力はこれである」という意志が込められたものになるであろうと思われれます。ちなみに本校は試行実施の対象校になっていませんが、研究を深めていかねばと思っています。

#### 四 おわりの

西日本豪雨の激甚災害により、いまだ大変多くの方々が避難生活を強いられています。土砂や大水で、町や村が埋もれてしまっている状況は、ニュース等で伝えられてきていますが、被害地域の方々の「こんなことになるなんて、思いもよらなかった」の言葉が胸に突き刺さります。万全に十分はないと思う次第です。被害地域の日も早い復旧を願うばかりです。

#### 各年次より

##### 『1学期を振り返って』

一年次主任 天海雅充

年次目標として「高い志を持ち、それを貫く」「人間性を磨く」「自己管理を徹底する」を掲げて、単位制6期生324名の高校生活は4月8日にスタートしました。入学直後は期待と不安で一杯の様子であった1年

次生も、4月の遠足(カレー作り)で級友との親睦も深まり、それまでの重苦しい緊張感から解放されたように感じられました。



また、5月の体育祭では各クラスとも優勝を目指し、各競技に全力で取り組みました。しかし、上級生のパワーに圧倒されながらも、クラスの団結力を強めることができたのではないのでしょうか。この4ヶ月で豊高生活にすっかり慣れ、表情にも少し余裕が出てきたように思われます。

4月当初の部活動加入率は93.8%と高く、各部で生き生きと活動しています。運動部ではすでに公式戦に出場し、大活躍している1年次生もいます。3年間勉強と部活動を両立させることは容易ではありません。しかし、部活動では、忍耐力、

集中力、協調性、思いやりやいたわり、上下関係、友情等、多くのことを身につけたり、学んだり、得たりすることができると思います。ぜひとも3年間部活動をやり抜いてほしいと思います。

2年次選択科目の登録は6月中旬に終了しました。文系志向の生徒が175名、理系志向の生徒が150名で、例年に比べると理系志向が多くなりました。1年後には、3年次の科目選択を決めなければなりません。3年次の選択科目は多く、2年次よりも複雑になるので、2学期以降も履修指導を実施します。

学習面では、全体として授業には落ち着いて取り組み、朝テスト、考査、模試等にも意欲的に取り組む生徒が多いので、1学期の成績が出るのが楽しみです。通知票を手にしたら、1学期の学習への取り組みを振り返り、反省すべき点や改善すべき点がある人は、この夏休みを利用して2学期に備えてください。また、しっかり取り組めた人は、慢心しないようにしましょう。

それでは、有意義な夏休みにしてください。

#### 『勉強は楽しい』

二年次主任 山田龍彦

1学期に3年次の選択科目の登録が終了しました。三者面談や登録用紙の確認等ご協力ありがとうございました。2学期は文化祭・沖縄修学旅行と大きな行事が続きます。また、勉強を習慣化する最後のチャンスです。志望大学合格といった目標に向けて毎日勉強して欲しいものです。学校で休み時間に真剣にスマホゲームに打ち込んでいる生徒の姿を見ると、勉強が楽しかったらと想像します。

勉強は楽しいよ」と原先生(本校理科教員)が生徒に言うとき、心底そう思っているので、表情を含めて皮肉には聞こえません。チクセントミハイという心理学者が学習に対するポジティブな精神状態の重要性について書いています。

危険な状態(たとえば恐れを感じたり、人目を気にしたり、無能だと感じたりする状態)でなければ、人は自然に学び、学ぶ事をたのしめる…。危険な状態や、そのネガティブな精神状態は、人が前向きに自分で決めた方法で決めた方法で持続的に学んで成長し、発



展しようとする自然なモチベーションの発生を妨げたり、遮断する」  
これからは、教師が生徒に一方的に教える能動的な学びから、

主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)に変わっていきます。数人からなるグループ単位で学習課題の解決に取り組みという協働学習を実践してきた金子先生(本校社会科教員)の著書で紹介されている概念「弱い紐帯(ちゆうたい)の強み」が学ぶ喜びを生むキラーではないかと感じます。簡単にまとめれば、自分とつながりの弱い相手から得るものは大きい」。学校だったら、特に親しいわけではない生徒と協力してある課題を解決することでしょう。

#### 【参考資料】

金子奨「学びをつむぐ」『協働の学び』が変えた学校』(以上大月書店)  
アンドリュー・ロビンス『どうすれば日本人は英語を話せるようになるのか!』(IBCパブリッシング)

#### 『あと半年』

三年次主任 井口正則

生徒諸君は期末考査が終わって一息、といったところかも知れませ

んが、センター試験までは早やあと半年となりました。夏休みに入ればAO入試が始まり、二学期に入るとすぐに推薦入試のガイダンスや申し込みが始まりますが、いずれも早く行き先を決めてしまいたい」という焦りや、一般入試では学力に自信がないから、という理由で志望するのは誤りです。確実な合格の見通しは立てられませんが、合格後に入学辞退はできません。これらの入試方式は、あくまでも一般入試を受けることを前提とした上での手段の一つと考えるべきです。



制度がいかに複雑多様化していても、進学の王道が「一般入試」であることは変わりません。むしろ、他の方法による入学者に比べて、一般入試による入学者は社会的にも高く評価されるようになってきています。勿論、一般入試を突破したことは本人の自信にもなりま

人を支える土台ともなります。夏休みの過ごし方のポイントは三つ。一つは起床時刻・就寝時刻・勉強開始時刻の三点を固定すること。もう一つはしっかりと計画を立てて、確実にこなしていくことです。夏休みが合否の分かれ目であることを知らない人はいないと思いますから、計画を立てたらあとは実行あるのみです。

最後の一つは「隙間時間の利用」を徹底すること。期末考査が終わったとたんに、放課後の教室などでのんびり時間を過ごす生徒が何と多いことか。そしてそんな生徒に声をかけても、「しまった」という顔をする生徒などいないという嘆かわしい状況。この生徒たちは本当に受験生なのだろうかと思えます。残り時間は誰も同じ。それをどう使うかが合否の分かれ目です。

#### 生徒指導部より

#### 「安心・安全な学校」に向けて

生徒指導主任 白木恭彦

盛夏の候 保護書の皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動、とりわけ生徒指導に対して、格別なご理

解とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

おかげさまで、今年度も一学期の終業式を迎えるまで、これまで大きな事件やトラブルも発生することなく、生徒指導部の目標の一つである「安心・安全な学校」に大きく近づいていることを実感しております。

さて、その一方で、昨今SNS(ツイッターやライン、最近ではインスタグラムなど)における書き込みや投稿が問題視されております。

具体的には、一般的に不適切と思われる動画を投稿したり、他者を誹謗中傷するようなものだったり多岐にわたっていることやその実態がなかなか表面化しにくい面がありその対応には、我々教職員も手をこまねいているといった状況です

そうしたなか、生徒指導部では、「はじめ」はもろんのこと、事件や事故を未然に防ぐための方策の一つとして「はじめアンケート」といったものの定期的実施しております。(今年度も既に5月下旬から6月上旬にかけて実施いたしました。)被害生徒からの訴えはもろんのこと、生徒からの各種の情報提供などをもとにして、全

校生徒が安心して学校生活を送ることが出来るための環境づくり  
に役立てております。

本校に限らず、高校あるいは中学校で発生する人間関係上のトラブルの多くが、SNSに端を発しており、またその殆どが些細な行き違いが原因であると言われております。

SNSを巡る被害者にも加害者にもならないためにも、比較的に家族が多く顔を合わせる機会(夏季休業)を利用して頂き、今一度、スマートフォン等の取り扱いについてお子様と話し合いの時間を設けて頂けると幸いに思います。

※参考までに、他人への誹謗・中傷は、重大な人権侵害であり、名誉毀損や脅迫罪等刑法上の罪に問われ、法的な責任を負う可能性があります。

むすびに、夏季休業を迎えるにあたり、全校生徒が、安全に留意し生活を送ることはもとより、学習活動や部活動においても全力で取り組むとともにその成果についても追求して欲しいと思っております。

なお、各ご家庭におかれましても、別途配付資料にございます

夏季休業中の生活について」を、ご一読いただきたく存じます

### 保健室より

#### 『1学期を終えて』

養護教諭

竹永恵美  
荒井ゆかり

4月から6月にかけて実施した定期健康診断すべて無事に終了しました。治療が必要な場合はお知らせを配布しました。まだ受診をしてない人は夏休みを利用して早めに受診、治療しましょう。保健室来室状況は、4月9日～7月10日までで、のべ404人が来室しました。外科的来室は149人で擦り傷が多かったです。特に6月は体育祭があったので外科的来室が多くありました。内科的来室は255人で頭痛・気持ちが悪くという症状を訴える生徒が多くいました。体調不良の原因が多かったのは睡眠不足です。睡眠時間が足りないと体も心も十分な休養をとることが出来ず、体調が悪くなったり、集中力が続かなかつたりします。

これから夏休みに入り生活リズムが崩れやすくなりますが、夏休み中も早寝・早起き・朝ご

はんを心がけ、充実した夏休みを送りましょう。

◎熱中症について

今年も猛暑と言われております。熱中症にならないよう次のことに注意しましょう

- ①規則正しい生活(食事・睡眠)
  - ②日中こまめに水分を補給する。特に運動中など汗を多くかくときはスポーツドリンクを適宜飲む。
  - ③運動中や外出中は涼しいところで休養を入れる。
  - ④体調が悪いと感じたら無理せず涼しいところで休む。
- ◎普通救命講習会について  
7月9日の放

課後に入間消防署の方を講師に招いて普通救命講習会を実施しました。1年次から3年次の希望者42名が参加し、心肺蘇生法、AEDの使い方を学びました。



		4月		5月		6月		7月		計(人)
		内科	外科	内科	外科	内科	外科	内科	外科	
1年	男子	5	3	6	5	13	11	4	1	48
	女子	2	4	11	11	14	10	3	2	57
2年	男子	8	4	9	6	18	16	5	1	67
	女子	9	3	16	9	12	13	2	2	66
3年	男子	11	2	28	6	24	11	5	6	93
	女子	10	4	20	4	16	13	4	2	73
計		45	20	90	41	97	74	23	14	404

H30年度 1学期保健室来室状況 (H30.4/9~7/10)